



南高SSHだより

第7号
H27.11.2
新潟南高等学校
SSH部発行

平成27年度SSH生徒研究発表会

文部科学省および国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）主催による平成27年度SSH生徒研究発表会が、インテックス大阪を会場に、平成27年8月5日（水）、6日（木）に行われました。発表会には、全国203校のSSH指定校等から約3,000人の高校生が集まり、日頃の研究成果のポスター発表や口頭発表が行われました。本校からは3学年の生徒3名が参加し、課題研究のポスター発表を行いました。

初日の午前中は、開会式、講演、ポスター発表の審査が行われました。生徒は、ポスター発表の審査開始前は少し緊張している様子でしたが、いざ審査が始まると3名とも堂々と発表していました。午後は、一般来場者向けのポスター発表を行いました。会場には大勢の高校生や一般の方が入場し、どの学校も、発表者は皆一生懸命自分たちの研究の説明を行っていました。また、発表の合間に他校のポスター発表を聞くことができました。生徒は、他校の研究発表を聞き他校の生徒と交流することで、大いに刺激を受けたようでした。

2日目は、審査で選ばれた代表校による口頭発表が行われました。代表校による発表はどれも大変素晴らしい発表であり、生徒は熱心に発表を聞いていました。口頭発表の後には、再び全体で一般来場者向けのポスター発表を行いました。

今回の発表会では、全国のSSH校の研究発表を聞くことで大変刺激を受けるとともに、多くの課題も見つかりました。ですが、本校から参加した3名の生徒はプレゼンテーションがとても上手であり、発表スキルの点においては決して他校に負けていないと感じました。この点は自信を持ってよいと思います。

参加した生徒の感想

- ・多くの高校生に発表を聞いてもらい、また、自分達も全国の高校生や海外からの生徒の発表を聞いた。質疑応答を通じて自分達の研究内容を伝えるとたくさんの質問があり、参加者の発表会に対する意欲の高さを実感しました。
- ・短いスケジュールのなかでグループの仲間とアイデアを出し合い意見を闘わせ、工夫して形にして何度も練習してきた。審査員の方から今までになかった鋭い指摘があったが、今まで見えていなかった所を浮き彫りにされたときの驚きと納得が大きかった。
- ・知識をもっと高めて、質問した方が驚くような回答ができるように研究していきたくなりました。
- ・自分達の発表内容をすぐに理解して、質問をしたり感想を言ってくれたりする人が多くいたので、互いに会話がはずみ、さらに内容を深められたような充実した気分になりました。また、全国の高校生が自分達の発表に興味を持っていることに喜びを感じました。
- ・全く知らなかった事なども他校の発表を通じて知ることができ、しっかり質問もできたので、総じてよく学ぶことができた発表会でした。

